

平成 30 年度第 1 回石狩海浜植物保護センター運営委員会議事録

◇日 時：平成 30 年 7 月 19 日（木） 10 時 00 分～11 時 30 分

◇会 場：石狩海浜植物保護センター

◇出席者：

＜運営委員＞

松島 肇（会長）

安田秀子（副会長）

伊井義人

溝渕清彦

内藤華子

石山優子

田畑 博

山田春雄

＜事務局＞ 環境市民部 環境保全課 兼 石狩海浜植物保護センター

宮原和智（センター長）

木本明美（主査）

荒山千恵（主任）

高橋恵美（技師）

◇欠席者：

＜運営委員＞

渋谷真澄

◇傍聴者：1 名

◇次第

開会前

石狩海浜植物保護センター見学

1. 開会

（1）委嘱状交付

（2）委員紹介

（3）会長・副会長選出

2. 議題

（1）平成 29 年度石狩海浜植物保護センター活動報告について

（2）平成 30 年度石狩海浜植物保護センター活動中間報告について

（3）海浜植物保護地区拡大について

3. その他

◇議 事

1. 開会

【事務局】

平成 30 年度第 1 回石狩海浜植物保護センター運営委員会を開催します。当運営委員会は、石狩市石狩海浜植物保護センター条例に基づき、事業計画について審議するため設置されるもので、新たに溝渕委員、渋谷委員、田畑委員、山田委員にご就任頂き、再任される 5 名の委員とともに、9 名で 2 年間、当センターの運営について、ご審議・ご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

(1) 委嘱状の交付

—委嘱状の交付（略）—

(2) 委員紹介

—各委員の自己紹介（略）—

—事務局の自己紹介（略）—

【事務局】

（委員会資料の確認）

- ・平成 30 年度第 1 回石狩海浜植物保護センター運営委員会次第
- ・平成 30 年度第 1 回石狩海浜植物保護センター運営委員会出席者名簿
- ・平成 30 年度第 1 回石狩海浜植物保護センター運営委員会配席図
- ・資料 1 平成 29 年度石狩海浜植物保護センター活動報告
- ・資料 2 平成 30 年度石狩海浜植物保護センター事業計画案
- ・資料 3 石狩海浜植物等保護地区拡大について
- ・平成 30 年度石狩海浜植物保護センター事業計画経過報告

(3) 会長・副会長選出

【事務局】

議事に入る前に、当運営委員会の会長、副会長を選出したいと思います。事務局から、前期に引き続き松島委員を会長に、安田委員を副会長に推薦したいと思いますますが、ご異議ございませんでしょうか。

【委員】

異議なし

（以後、会長による議事進行）

【松島】

宜しくお願い致します。

議事に従って進めてまいります、その前に開会前に施設をご覧になられて質問や思うところがありましたらお願い致します。

【安田】

観察園の整備の試みはよいと思う。今後もよりわかりやすく整備されていくことを期待する。

【田畑】

保護地区にロープを張り、乗入禁止の看板を設置しているのを見たが、屋外やあそび一ちなど、現地での海浜植物の希少価値を啓発する内容の看板が少ないように思う。マップと合わせて、どのような植物が群生しているのか、なぜ車を乗り入れるのがよくないのか、「自然ふれあい保護地区」とはどういう地区なのか。夏季に向けて多くの方が訪れるので、保護地区の意味や石狩浜の動植物を守ることのわかる案内がほしい。

【溝渕】

石狩浜海浜植物保護センターの運営が、NPO 法人いしかり海辺ファンクラブとなり、施設内の展示の工夫が見られ感銘を受けた。

田畑委員の看板のご意見をお聞きして、禁止の周知ばかりではなく、魅力を伝えるものも必要であると思った。看板の位置については考えていく必要があると思う。

【山田】

施設内の展示を見て、立体的になっているものや、海浜植物ならではの根の特徴が示されているものなど、子どもにわかりやすく、大人にもわかるような視点で工夫されていると感じた。

外回りの雑草の対処については大変という印象を受けた。ボランティアで来てくださる方が増えるとよいと思った。

夏季の海水浴シーズンに訪れる方が保護センターに立ち寄ってもらえるよう、外側に目立つような表示をして施設内に足を運んでもらい、なぜ保護が必要であるかを知ってもらえるとよいと思う。

【伊井】

子ども向けの取組みが充実しており、何度も来たくと思う。どの世代の子どもにもよるが、子どもが来るということは保護者も一緒に来館することになり、来館者の増加にも繋がるので、今後も活動を続けていってほしいと思う。

2. 議題

議題（１） 平成 29 年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告について

【事務局】

—資料 1 「平成 29 年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告」説明—

【松島】

質問・意見等がありましたらお願い致します。

【田畑】

資料 1 の 5 頁「海辺パトウオーク」について、課題の一つであるバギー車乗り入れに伴うパトロールの効果はどうか。

【木本】

毎月1回のパトロールウォークの中で、保護用ロープを切った侵入などが見られることがある。親船地区については、車輛進入防止柵の維持を業者委託している部分もあることから、パトロールウォークをしている際に発見された場合は、随時ロープによる補修作業等を依頼している。また、現地で簡易的な対応が必要な場合は、流木を再利用した防止柵を設置するなどの対応も行っている。乗入は減少傾向にあるものの皆無ではないため、今後とも活動が続けながら保護地区についての周知啓発に努めていきたい。

【安田】

ボランティア支援の活動を報告資料に加えてほしい。

【石山】

平成29年度末の委員会資料ではすべて報告されていた。

【木本】

再度確認のうえ掲載するようにしたい。

【溝渕】

今年度の事業数が12本に分けられており、本数が多く全体が見えにくくなっている部分がある。事業計画の立て付けそのものを、例えば、①保護・保全、②プロジェクト、③環境教育、④施設運営、くらいに整理するとわかりやすくなる可能性があるので、次年度（平成31年度）の事業計画のときに再整理してみるとよいと思う。

議題（2） 平成30年度石狩浜海浜植物保護センター活動中間報告について

【松島】

平成29年度より保護センターの運営を受託しているNP0法人いしかり海辺ファンクラブを代表して、理事長である石山委員から説明をお願い致します。

【石山】

—資料「平成30年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画経過報告」（1～9）説明—
（資料説明前の補足）

事業には、石狩浜海浜植物保護センター主催事業、環境保全課事業のほか、NP0法人いしかり海辺ファンクラブが独自で行う事業の3つがある。

NP0法人いしかり海辺ファンクラブが石狩市から受託しているのは、石狩浜海浜植物保護センター事業のイベント、展示、観察園・再生園の整備など運営部分のみで、出前講座や保護地区の監視・管理などは市が直営で行っている。

【事務局】

—資料「平成30年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画経過報告」（10～12）説明—

【松島】

質問・意見等がありましたらお願い致します。

【山田】

いろいろな活動をされていて、すごいと思う。これだけの事業を行うためには人材が必要と思うが、石狩浜海浜植物保護センターは常勤で何名か。

【石山】

石狩市との契約上の条件で8時45分から17時15分まで常時2名であるが、人手が足りないため、多いときには1日6名くらいが入り、観察園や再生園に力を入れることもある。ただし、年間の人件費が420万円のなかで調整しなければならず、非常に大変である。石狩浜海浜植物保護センターの20周年（平成32年度）に向けたあり方について、どこまで活動を維持していくか、人員が不足しているなかでは難しく思っている。

【山田】

出前講座なども派遣で行かれているのか。

【石山】

出前講座は石狩市の職員が対応している。環境学習については、NPO法人いしかり海辺ファンクラブで対応している。

【山田】

常勤2名は大変であるので、石狩市で考えたほうがよいと思う。

【安田】

新たな保護地区に浜側から侵入されているという話を聞いた。保護地区拡大に伴い看板が新たに設置されているが、設置されていない浜側にも必要なのではないと思う。

【伊井】

平成29年度から平成30年度に事業を継続するうえで6つ新規事業があるが、廃止した事業はいくつあるのか。

【石山】

事業とした括りで廃止したものはないが、実施回数を減らすなどの対応を取っている。

【伊井】

人員は限られているので、新規事業ばかりを増やしても難しい。何かを廃止する考え方も必要になってくるのではないかと感じた。

【石山】

来年度以降考えてみる。

【山田】

観光との関連もあり、海浜植物の保護は大事であると思う。石狩の観光の目玉の一つにもなるので、石狩市に働きかけて予算を獲得したらよいのではないと思う。

【溝渕】

次年度の事業計画については、石狩浜海浜植物保護センター20周年（平成32年度）に向けた気運に関わってくるところである。石狩市本町地区のなかで石狩浜海浜

植物保護センターをどのように位置づけていくのかを考えたうえで、今後の事業を考えていくとよいと思う。

議題（３） 海浜植物等保護地区拡大について

【事務局】

—資料３「石狩海浜植物等保護地区拡大」説明—

【松島】

質問・意見等がありましたらお願い致します。

【内藤】

業者による補修は従来の「親船地区」と新たな拡大地区と合わせておこなっているのか。

【宮原】

はい。加えて、「弁天地区」の一部（はまなすの丘公園との境界）の車輛進入防止柵の維持管理についても業者に委託している。

【溝渕】

バギー車侵入などの問題で石狩浜の保全について理解者を増やしていく方法はないだろうか。広い意味で、石狩海岸を利用される方が保全活動と一緒に（例えば、保全用の杭を打ち直す作業と一緒に）などの参加型のメニューができればよいと思う。

３．その他

【事務局】

なし。

【安田】

石狩市環境まちづくり基金から石狩海浜植物保護センターに充当されている分はあるのか。

【宮原】

平成 29 年度事業決算では、海浜植物保護センター運営事業に 150 万円の充当があった。

【内藤】

次回の日程について。

【宮原】

平成 29 年度は 7 月と 3 月の 2 回の実施に終わったが、平成 30 年度は 3 月の開催前の時期にできうればもう 1 回、計 3 回の開催を予定している。次回の日程について具体的には決まっていないが、次年度（平成 31 年度）予算計画の時期に、その内容等について報告や審議等を行いたいと考えている。日程調整のうえ決まり次第ご連絡する。

【松島】

—ご案内—

今年の8月、「ふるさと海辺フォーラム」が静岡県浜松市で開催される。石狩浜海浜植物保護センターもこの事業に以前から関わりがある。平成31年度は宮城県名取市で開催予定、復興計画が終わる年でもあることから、「まち開き」を名取市が5月に開催を予定しており、合わせて6月に「浜開き」をやらないかと名取市「名取はまぼうふうの会」からご提案をいただいている。まだ正式ではないが、来年度の活動としてあるかもしれないので、詳細決定後にはご案内したい。

【事務局】

—閉会—

本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。本日の議事録につきましては、会長に確認後、各委員にお配りしたいと存じます。また、本日の各委員のご意見につきましては、今後の保護センターの運営に活かしていきたいと考えておりますので、今後とも、お気づきの点がありましたら、随時、事務局のほうまでお寄せください。これで第1回運営委員会を終了いたします。ありがとうございました。

議事録を確認しました。

平成30年8月8日

石狩浜海浜植物保護センター

運営委員会会長 松島 肇